2026年、行政書士法が改正

行政書士登録のない人が補助金の申請書類を作成したり申請を代行したりすると、行為者本人だけでなく所属する法人も罰せられます。依頼した企業の側にも措置が及ぶことがあります。
KOTONAは経営者がAIと対話して“自ら書類を作成” する、非代行ツールです。



従来のやり方ができなくなり、経営者も専門家も選択を迫られています

汎用AIツールとの違い

ChatGPTやGeminiでも文章は作れます。違いは、何を情報源にし、誰が作った書類になるかという点にあります。また、汎用AIツールは道具として優れていますが、使いこなす技術を経営者の側が持っている前提に立っています。KOTONAはその前提を外したところから設計されています。

比較軸	汎用AIツール	KOTONA
使い始めるまで	プロンプトを書く技術（知見）が必要	AIが質問して、利用者のアイデアや構想を聴き出す
主な情報源	Web上の既存情報を軸にする	経営者の頭の中と決算書を軸にWeb情報で補完
アウトプット	流用性の高い事業計画（AIが作成者）	その会社固有の事業計画（経営者が作成者）
補助金への対応	丸投げになりやすく、AI利用の高い知見が必要	補助金別テンプレートを随時拡充
作成後のフォロー	都度やり直し	ブラッシュアップや年次報告にも対応

FAQ（よくある質問）

KOTONAについて寄せられる、よくあるご質問（Q）の抜粋です。その答え（A）は、二次元バーコードからホームページのFAQページでご覧ください。

- KOTONAは何をするサービスですか？
- AIを使って補助金の申請書を作れますか？
- 自分でAIを使えばいいのでは？ ChatGPT等とどう違いますか？
- 料金はいくらですか？
- インフォグラフィック（図表・グラフ）も作れますか？
- AIが生成した財務の数値はそのまま使えますか？
- 入力データはファシリテーターが閲覧できますか？
- 申請書類のうち、テンプレートにない書類はありますか？
- ひとつのメールアドレスで複数のアカウントを登録できますか？
- ファシリテーターを紹介してもらうことはできますか？

FAQ

エンドユーザーのご利用料金

新規ご登録の場合は、**14日間の無料トライアル**がご利用いただけます。なお、KOTONAは法人向けサービスであり、個人ではご利用いただけません。

料金種類	主な機能	月払（税込）	年払（税込）
基本利用料 ※ファシリテーター料、インフォグラフィック・図表制作費は含みません（別途費用）	・中長期計画：市場調査・競合分析・SWOT分析・決算書PDF解析・投資可能額算出・フェーズ別マイルストーン設計 ・短期計画：数値目標・リスク設計・撤退案・計画実施後5年間の財務数値予測・資金調達の選択肢提示 ・継続利用中のデータをサーバ内に保管（不慮の事態による消失は保証いたしかねますので、ダウンロードによる控えの保管をお願いしております）	**¥7,700**	15%OFF **¥78,540** （月当り¥6,545）

決済方法

KOTONA利用料のお支払いは、Stripe社の決済システムを標準としています。VISAやJCBなどの主要クレジットカードがご利用できます（右図はStripe決済画面）。詳しくは、Stripe社のサービスガイドをご覧ください。なお、提携団体の組合員や会員の方は、所属団体の決済をご利用いただくことができます。提携団体は当社ホームページのFAQでご確認ください。
※無料期間は、決済サービス（Stripe）への登録が完了したときを基準にしていますが、提携団体会員の場合は管理者が登録を完了したときに送信されるウエルカムメールの発行時が日数カウントの基準になります。実際に使い始めた日が基準ではありませんのでご注意ください。



Stripe決済登録画面

●お問い合わせ先（申込フォームの紹介者欄には必ずご記入ください）

対話型AIコンサルティングサービス
KOTONA
エフビーコーポレーション合同会社
東京都中央区銀座4-8-12-5F

ホームページ
https://www.fbc.jp.net/

まずは14日間の無料試用
https://www.fbc.jp.net/forms/

KOTONA



24時間いつでも経営相談できる、あなたのAIコンサル。

決算の数字は税理士に、法律のことは弁護士に相談できます。けれど「この先どこへ向かうか」を一緒に考えてくれる相手は、意外と見つかりません。KOTONAは、まだ形になっていない段階から相談できるAIです。

01 思い立ったときに、いつでも、何度でも

AIだから、アポイントも時間の調整も不要です。深夜でも早朝でも相談（壁打ち）ができ、何度やり直しても追加費用はかかりません。

02 問いかけられることで、整理される

一方的に結論を出しません。「なぜそう考えたのか」と問いを返すことで、あなたの頭の中にあるアイデアや構想の断片がつながっていきます。

03 話した内容が、計画案に

相談と素案づくりが、ひと続きになり、中長期計画案や短期計画案の成果物になります。保管データはいつでも呼び出せ、ブラッシュアップできます。

04 決めるのは、経営者ご自身

KOTONAは論点と選択肢を提案しますが、最終判断は常に経営者本人が行う仕様です。だからこそ、ご自身の言葉で語れる素案になります。

相談相手がいない、という経営課題

決算の数字は税理士に、法律のことは弁護士に相談できます。けれど「この先どこへ向かうか」を一緒に考えてくれる相手は、意外と見つかりません。従業員には話しにくい、外部の専門家に頼むほど考えが固まってもいない。そうして先送りされたまま、補助金の公募が始まってから慌てて計画書に向き合うことになります。

答えに迷ったら、“質問返し”で相談できる。

AIに何をどう指示すればいいのか。その悩みは、KOTONAが解決済みです。質問するのはAIの側で、経営者は答えるだけです。それでも答えに迷ったら、ぜひ、AIに“質問返し”で相談してください。それまでの壁打ち履歴や、WEBから収集した情報をもとに、AIが課題を深掘りして、アドバイスや提案をしてきます。但し、AIの提案やアドバイスはあなたが最終判断し、必要な修正を指示し、“あなたが作成した文書”と言えるものとしてください。

対話型AIコンサルティングサービス
KOTONA

【動画】
あなたのAIコンサル、KOTONA
https://vimeo.com/1214526250

【動画】
行政書士法改正のポイント
https://vimeo.com/1211245058

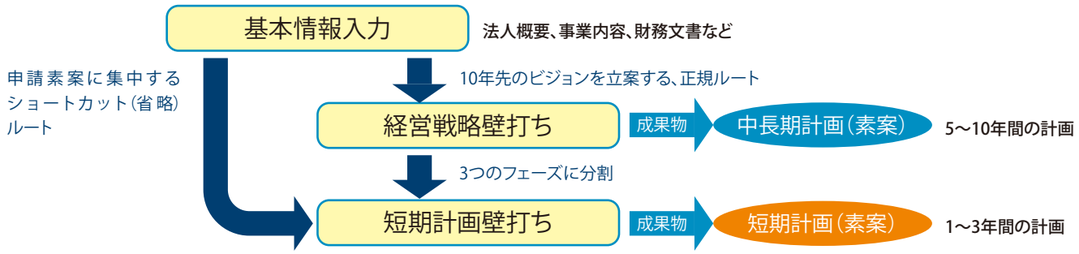
KOTONAでできる３つの基本業務



①事業計画作成業務（中長期計画）

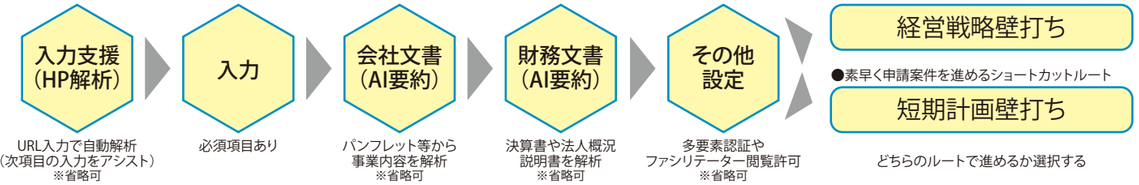
相談できることと、できあがるもの

KOTONAを利用することで、10年先を見据えたビジョンから短期の目標まで一貫した計画を作成できます。
想いを文書化できるので、従業員や株主、金融機関など、**伝えたいステークホルダーに伝わりやすく**なります。



【ご注意】KOTONAは経営判断を代行するものではありません。また、KOTONAが算出する財務数値は検討のためのたたき台です。ご利用の際は内容をご確認いただき、必要に応じてファシリテーターによる検算をご活用ください。税務・法務など個別具体的な判断については、各分野の専門家にご相談ください。

●基本情報の入力手順



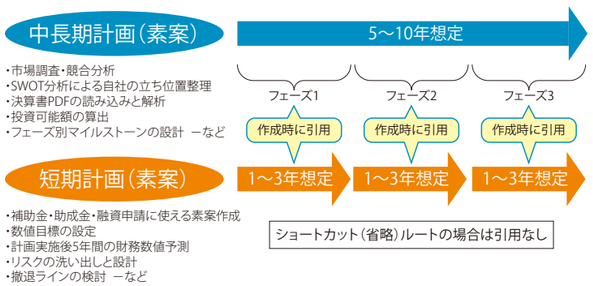


↑　経営戦略素案のプレビュー例



↑　過去に作成した計画を呼び出して加筆可能

●中長期計画と短期計画の連携



プロンプトはいりません

事前の学習もAIへの命令文も不要。KOTONAの画面に表示された質問に、普段どおりの言葉で答えるだけです。

経営者の孤独を解決するために

相談相手がいなくて孤独を感じている経営者の悩みを解決するために、24時間いつでも、何度でも相談できる“対話型AIサービス”として開発しました。

計画は作って終わりではなく、ブラッシュアップしていくもの

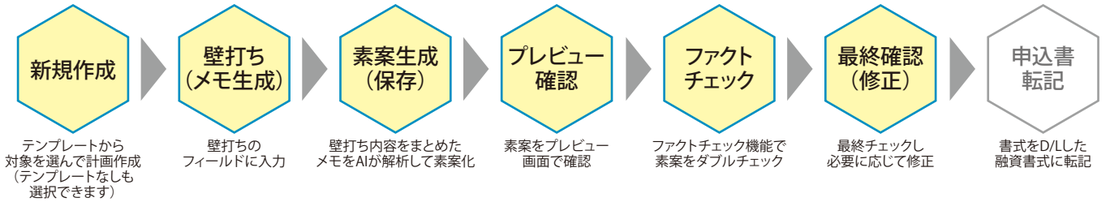
経営計画は会社の成長に合わせて育てていくものです。KOTONAで作成した経営計画・短期計画は保管され、次に使うときに呼び出せます。過去データを土台にして更新できます。

②融資申込書作成業務（短期計画）

事業資金を借入するときに社長の考えを文書化する

断片的なアイデアや構想をAIに伝えていただき、何度か壁打ちを繰り返すうちに素案を作成します。
また、中長期計画との連動させることもできます。

●短期計画の生成手順（全短期計画共通）



【ご注意】KOTONAとの壁打ちで生成される短期計画は申請や申込のための素案であり、申請書や申込書そのものではありません。数値や計算結果について不正確な場合がありますので、必ず確認してください。最終的な提出書類は、お客様ご自身で内容を確認・修正の上、ご作成ください。また、生成対象には、一次書類から単純に転記するだけの名簿や住所録は含まれていません。素案のプレビューの「提出に関するガイダンス」に記載された公式サイトから書式を入手して記入して提出時に添付してください。

●素案の文章を、公式サイトからダウンロードした書式に転記して申請書を作成（全短期計画共通）



↑　AIとの“壁打ち”で経営者が自ら作成した短期計画素案（例）



↑　申請書式に貼付けて完成させる

●インフォグラフィック（図解）
インフォグラフィックの作成機能はKOTONAには実装されていません。必要に応じて、下記の方法などで別途ご手配ください。
①パワーポイントやCANVA等のソフトウェアを使って貴社内で制作する。
②図解デザイナーに作成依頼する。
③図解生成AIを使って作図する。
④ファシリテーターに相談する。
※②〜④は別途費用が発生します。

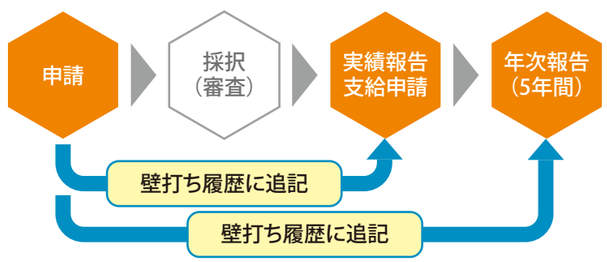
③補助金・助成金申請素案作成業務（短期計画）

現在のテンプレートは約30種、リクエストもできます

約30種のテンプレートを常備しています。また、募集要項や書式が変更されたらテンプレートも更新し、新しい広域補助金等が公開されれば追加していきます。また、お問い合わせフォームからリクエストをいただけば追加します。（※）

※リクエストをいただいた時点で締切が間近でテンプレート作成時間が足りない場合や、応募対象者が極端に少ないと考えられる支援策に関してはテンプレート追加のリクエストにお応えできかねる場合もございますので、予めご了承ください。

●実績報告・支給申請や年次報告も簡単に



●テンプレートの種類（2026年8月現在）
＜融資用＞日本政策金融公庫融資（中小企業経営力強化資金等）／信用保証協会（主に東京都）
＜補助金・助成金用＞中小企業省力化投資補助事業／小規模事業者持続化補助金／新事業進出・ものづくり商業サービス補助金／デジタル化・AI導入補助金／中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金／100億企業宣言／人材開発支援助成金（9コース）／キャリアアップ助成金（7コース）／人材確保等支援助成金（8コース）／水産業復興販売加速化支援事業のうち水産加工品新開発マッチング事業／農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）産業支援型／事業承継・M&A補助金（事業承継促進枠）／農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）産業支援型／業務改善助成金

専門家の伴走者がほしい経営者にも

AIだけでなく、専門家にも相談したいという方のために、専門家がファシリテーターとして伴走するかたちもご用意しています。